

事業所名

児童発達支援センター パステル(単位1)

支援プログラム(放課後等デイサービス)

作成日

2025年

3月

24日

法人(事業所)理念	・利用者の「尊厳の保持(権利擁護)を基本として、一人一人にあった自立生活による社会参加の実現」を応援する仕組みづくり、(社会資源の開発)と「生きやすさのある社会づくり」への貢献を、先駆的・開拓的で独自性のある実践をする。								
支援方針	1. 子供の個別性が尊重される暮らしを保障する。 2. 子供が自己の潜在能力に気付ける環境をつくる。 3. 子供の自立心を養い自立を目指す環境をつくる。 4. 子供の自己肯定感、問題解決力が育つ環境をつくる。 5. 食育を通して勤労観、職業観の育つ環境をつくる。								
営業時間	13時	30分	から	17時	0分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 健康状態を把握。 基本的な生活スキルの獲得のために、身の回りの事を自分で出来る様支援を行う。 時間や空間が子ども達にわかりやすいように構造化等により生活環境を整える。 遊びや活動を通して、健康的な生活を送れる様環境を調整する。 							
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 視覚・聴覚・触覚等の感覚を使う経験の中で好きな感覚、苦手な感覚を知り、日常生活や社会生活の中で活用できるよう支援を行う。 週に1回程度、運動プログラムの中で、子ども達の運動機能や感覚の感じ方(鈍感・敏感)に合わせた、感覚運動遊びを楽しみながら、身体の使い方や、感覚の受け取り方を知り、身体や力のコントロール、情緒のコントロールする方法を身につけていけるよう支援する。 							
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 物の機能や属性、形、色、音が変化する様子、空間、時間等の概念の形成を図ることによって、それを認知や行動の手掛かりとして活用できるよう支援を行う。 環境から情報を取得し、必要なメッセージを選択して行動につなげるという、一連の認知過程の発達を支援を行う。 認知へのこだわり等、個々の特性に配慮した支援を行う。 							
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な事物や体験と言葉の意味を結びつけ、体系的な言語の習得、自発的な発声を促す支援を行う。 言葉のコミュニケーションだけでなく、非言語(文字やイラスト、ジェスチャー等)を活用しながら、自分の考えや、相手の気持ちや意図を理解できる様支援する。 							
	人間関係・社会性	<ul style="list-style-type: none"> 保護者や支援者等の身近な大人と信頼関係の構築をし、それを基盤として、他者・他児へ関係性を広げていくことができるよう支援を行う。 役割分担やルールを決めて協働遊びを通し、社会性を身につけるための支援を行う。 週に1回程度、集団プログラムの実施にて、集団に参加するための手順やルールを理解したり、遊びや集団活動に参加できるよう支援を行う。 							
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> モニタリング会議や支援会議等、定期的に状態の確認やサービスの調整 送迎時に家族との情報共有 年間行事やイベントで、保護者間交流の場を提供。 	移行支援							
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> 教育、福祉、医療等の関係機関と連携し、地域の発達支援体制の充実や地域の発達支援に関する課題の改善・解決に努める。 地域のマルシェや祭りなどで、制作したものの販売を行い、社会性を養う。 年に2回、子育て支援として「ペアレント・プログラム」を実施(名護市より受託) 	職員の質の向上			<ul style="list-style-type: none"> 法人内、虐待防止研修 法人内、スポーツ交流会 随時、外部研修に参加し、職員の専門的な知識やスキル、支援の質の向上を図る。 				
主な行事等	・毎月の誕生会・春夏遠足・運動会・水遊び・クリスマス点灯式&家族交流会、季節の行事や法人イベントへの参加								